

患者さまへ

「器質性僧帽弁逆流に対する僧帽弁形成術の長期予後
一心エコー検査による経過観察」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。
このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。
なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2009 年 1 月より 2014 年 12 月までに葉山ハートセンター心臓外科で、器質性僧帽弁逆流で僧帽弁形成術を受けられた方
2 研究目的・方法	僧帽弁形成術は、器質性僧帽弁逆流の標準的治療法として確立しています。術後の狭窄と逆流再発が僧帽弁形成術の予後不良の一因であると報告されていますが、それぞれがどのような経過で生じるか、さらに、その頻度や発生に関連する要因など不明な点が多くあります。器質性僧帽弁逆流で僧帽弁形成術を施行した患者さまの術後の狭窄と逆流再発の発現状況について長期的に検討します。 電子カルテ内の患者さま情報、エコー所見、手術記録を調べます。 研究の期間：施設院長許可(2024 年 10 月予定)後～2027 年 6 月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	患者背景(年齢、性別、身長、体重等)、病歴、心エコー所見、手術記録 等
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問などがありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 氏名：小出康弘 病院名・所属、職位：葉山ハートセンター・麻酔科、部長 住所：神奈川県三浦郡葉山町下山口 1898-1 連絡先：046-875-1717